

令和7年度 第1回 城南図書館・児童館 連絡協議会 (城南児童館運営審議会) 議事要録

1 開催日時及び場所

令和7年8月1日(金) 10:30~12:00

場所: 熊本市立城南図書館・熊本市城南児童館 多目的室

2 出席者 15名

尚綱大学短期大学部 幼児教育学科 教授

熊本市立隈庄小学校 校長

熊本市南区文化協会 会長

隈庄校区青少年健全育成協議会 会長(欠席)

豊田小学校PTA 会長

隈庄校区自治協議会 会長

城南地域ブランド力向上委員会 TEAM城南ワンダホー 会長

杉上校区主任児童委員・民生委員

城南子育て支援センター(小木こども園) (欠席)

親育ち支援の会 ポトフ 会長

地域子育てクラブピカピカ 会長

城南まちづくりセンター 城南公民館 館長

熊本市こども局 こども育成部 こども支援課

熊本市教育委員会事務局 教育総務部 熊本市立図書館

城南図書館管理運営共同企業体 代表

3 議事内容

1) 令和7年度事業計画及び取り組みについて

2) 利用者数等の報告

- ・資料に基づき、事業計画及び取り組み、利用者数等について報告
- ・アンケート集計結果について、資料に基づき、別途報告

4 質疑応答

「城南図書館・城南児童館へ意見等」

委員 A

城南図書館・児童館の取り組みは、毎回非常に高い水準で行われており、大変感心しています。特に夏休みに入るこの時期は、学校が休みとなり、家庭や地域でのこどもの生活時間が増える中、図書館が果たす役割は極めて重要だと感じています。施設の設備だけでなく、職員の対応や活動内容などサービス面でもとても満足されています。利用者数は一時的に減っているとの報告もありましたが、それは一過性のものであり、今後も安定して利用され続ける施設だと確信しています。

様々な媒体を活用した発信により、地域外からの来館者も増えており、多くの方々に知られるようになっていきます。今後もこの場所を拠点に利用の輪が広がり、県内の多くの人に活用されることを期待しています。

委員 B

日頃より子どもたちが図書館を利用させていただいており、体験活動も豊富で本当に助かっています。特に隈庄校区は広く、暑い時期の下校途中で体調を崩す児童が出た際には、図書館・児童館に大変お世話になりました。子どもたちにとって、いろいろな意味で安心できる場所が拠点としてここにあるという事は、学校としては非常に心強く思っております。また、読書習慣が子どもたちの間で減少しているという報道もありますが、学校のカリキュラム上、読書の時間を確保するのが難しくなってきています。また、限られた学校の蔵書だけでは子どもたちの多様なニーズに応えきれないため、今後も図書館との連携をさらに深めていきたいです。

委員 C

プログラムの豊富さに毎回驚いています。地域に根ざした活動が着実に成果を上げており、利用者からの評価も高いとのアンケート結果も出ています。子ども用のおもちゃの製造に関わる企業が、幼児教育に活用できるアイデアを提案していると聞きました。これに大学の先生方も関心を示しており、公的施設と教育機関との連携による新しい教育支援の形が見えてきた気がします。さらに、デパートが子育て支援を担う構想も出てきており、今後ますます地域連携が広がることでしょう。

そのような施設と関わることのできる、大きな力を持っている城南図書館・児童館に期待します。

委員 D

個人的にも図書館は頻繁に利用していましたが、今日このように多彩な活動をしていることを知り、驚きとともに感謝の気持ちでいっぱいです。特に読み聞かせ活動では、保護者のボランティア参加が難しい中、図書館のご協力により子どもたちが楽しみにしている時間となっています。また、職場が東区にあるのですが、東区の方からも『城南の図書館は素晴らしい』という声をいただいております。誇らしく思いました。そのような声が来館者の数字にも表れているのではないかと思います。私たちも可能な限り協力させていただきますので、どうぞよろしく申し上げます。

委員 E

今回初めて出席いたしました。隈庄校区は育成クラブが民営化しております。コミュニティーセンターの運営委員もやっておりますが、今後の取り組みの仕方を考えなければならないと感じました。地域の子どもたちが安心・安全に過ごせるよう、自治協としても図書館・児童館と協力していければと考えています。今後共よろしく願っています。

委員 F

図書館・児童館とコラボして3年になりますが、毎年新しい変化が見られます。特に「茶摘みフットパス」は、募集開始とともにすぐに定員に達しました。去年との違いに、これも継続の力だと感じました。また、城南夏まつりは、図書館・児童館で結成されている「城南中高生ボランティア TEAM」にもお世話になります。今年の参加は去年より倍増しており、やる気に満ちた様子が伝わってきます。下城南中が行っている「チャレンジ下城 DAY」は不登校対策も意識した活動で、学校に全く来られない子が少しでも来られるようにという思いもあるそうです。私たちの企画したイベントにボランティアで参加し「こうしよう！」と企画を立て、子どもたちが少しでも参加してくれたら嬉しいです。

また、現代美術館では「アートの福祉的アプローチ」を推進しており、私たちの活動もそれに近いと評価され驚きました。例えば、茶摘みフットパス、城南夏まつりなどのイベントが、不登校の子ども達の社会参加や課題解決につながる可能性があるそうです。また、図書館でも障害のある方や引きこもりの方が参加するきっかけになるような活動が行われており、そうした取り組みが人々の生きがいにつながっているのではと感じています。今後もそのような活動を見守りたいと思っております。

委員 G

児童館・図書館と「はじめの一步」で連携させていただいています。絵本の贈呈をさせていただいていますが、参加者が増えた事に伴い、今年度から絵本の冊数を増やし対応しています。それをきっかけに参加していただける方もおり、嬉しく思っています。また、下城南中が行っているチャレンジ下城 DAY の活動で行った、「あかちゃんふれあい体験会」は、当日参加出来なかったのですが、とても良かったとの声をお聞きしました。先日行われた南区管内子育て支援ネットワーク会では、城南児童館に事例発表をしていただき、城南もこのような活動をしているという事をアピールできたのではないかと思います。

委員 H

先日の南区管内子育て支援ネットワーク会での、あかちゃんふれあい体験会の事例発表では、お褒めの言葉をいただき私まで嬉しく思いました。生徒の感想文にもその影響が現れており、この活動が継続していくことを心より願っています。また、支援を必要とするお母さんを児童館から紹介され、訪問支援につながったケースもありました。主任児童委員と児童館の活動を並行しながら進めていく事が、細やかな支援につながると実感しております。今後ともよろしく願っています。

委員 I

子どもと保護者が安心して参加できるイベントを提供していただき、本当にありがとうございます。特に、子どもたちの作品展示は好評で、図書館に足を運ぶきっかけになっています。好きな絵本の紹介など、読書に興味を持つ機会としても大変良い取り組みだと思います。私が所属しております児童館の地域子育てクラブは、今年度は 25 組の親子が登録しており、今後も児童館と協力しながら活動を盛り上げていきたいです。

委員 J

図書館・児童館には大変お世話になっております。年間これだけの単独の事業をこなしながら、公民館との連携事業もしていただき、大変感謝しております。先月開催した「トライアングルコンサート」では来場者が予想を上回り、駐車場での混雑などご迷惑をおかけしました。今後も互いに協力しながら事業を展開していければと考えています。また、図書館・児童館が公民館と同じくクーリングシェルターとして指定されていることもあり、そのような点でも連携して行ければと思います。

企業体代表

皆さまからいただいたご意見とお褒めの言葉、本当にありがとうございます。すべてはスタッフの努力と、地域の皆さまとの連携の賜物です。私たちが運営する公共施設は、常に連携という言葉大切にしています。

地域や地域団体と連携するという事が私たちならばできるのではないかと、そこに着目することが私たち指定管理事業のスタートとなっております。不登校の話も問題視されていますが、教育委員会が進める「フレンドリー事業」（学校にいけない子どもが通える学びの場）に協力し、森都心プラザ図書館の一角をその会場として提供しています。

熊本市や教育委員会が良い企画を立てても、その実行を担う人がいない場合があります。そこで「私たちがやります」と手を挙げて取り組んでいます。

今年度もすでに事業は始まっていますが、今後も「こんなことをお願いしたい」といった声があれば、スタッフがアイデアを出し対応しますので、是非お声がけ下さい。

また、夏休み中も移動図書館を展開し、普段来館しにくい地域にも読書の機会を届ける予定です。地域の小学校と連携してチラシを全校生徒に配布することで認知度を高める工夫もしています。夏祭りも控えており、地域の皆さんと一緒に盛り上げていければと考えています。

以上をもって本日の会議を終了いたします。皆さま、本日は誠にありがとうございました。